



# WEEKLY REPORT

国際ロータリー第2600地区 上田ロータリークラブ  
(創立1959年11月12日)



UNITE  
FOR  
GOOD

よいことのために  
手をとりあおう

2025-2026年度 国際ロータリーメッセージ

## よいことのために手をとりあおう

R.I.会長 フランチェスコ・アレツツォ

国際ロータリー第2600地区 ガバナー 小林 磨史

2025-26年度 上田ロータリークラブ

- 会長 窪田 秀徳 ●副会長 内河 利夫・飯島 幸宏
- 幹事 湯田 勝己 ●会報委員長 藤森 幸路

## 第2999回例会 (令和7年9月29日)



ホームページQR

### [セレモニー]

ボーイスカウト・ガールスカウト賛助金 贈呈

- ◆ガールスカウト長野県第5団 リーダー 吉村亜希子様
- ◆ガールスカウト長野県第25団 団長 村瀬 知穂様
- ◆ボーイスカウト上田第13団 団長 小川 實様
- ◆ボーイスカウト上田第5団 団員 中塚 亮平様



### [会長挨拶]

窪田 秀徳 会長

今日は、上田市で長年活動を続けておられるボーイスカウトとガールスカウトの4団体の皆さまをお迎えして寄付をお渡しできることを、大変うれしく思います。会長として心から歓迎申し上げますとともに、これまで子どもたちのためにご尽力いただいていることに深く感謝いたします。

まず、スカウト活動の歴史を少しご紹介したいと思います。

ボーイスカウトは、1907年にイギリスのロバート・ベアデン＝パウエル卿という方が始めました。当時、若者たちに自立心や助け合う心を育てるには、自然の中での体験がとても大切だと考えたのです。彼が島で開いた小さなキャンプが、その後世界中に広がる運動の出発点となりました。日本でも1920年代から活動が始まり、戦後は全国で広がりを見せ、今も多くの子どもたちが自然や地域での活動を通して成長しています。

ガールスカウトは1910年代、アメリカで生まれました。女の子も男の子と同じように社会で役立つ人材になれる

という考えから始まりました。日本では戦後に正式に広がり、今では全国に仲間がいます。特に国際的な交流を大切にしており、世界中の仲間とつながる経験を積むことができます。ガールスカウトの活動は「自分を大切にし、人のために役立つ」という目標を掲げていて、多くの少女たちが楽しみながら学んでいます。

ボーイスカウトもガールスカウトも共通しているのは、「ちかい」と「おきて」と呼ばれる生活の指針です。仲間を思いやり、困っている人を助け、自然を大切に、正直で誠実であること。これは単なるルールではなく、子どもたちが毎日の生活の中で実際に行動しようと心がける約束です。こうした経験は、社会に出たときに必ず役立つものになります。地域や国を支えるリーダーを育てる運動であると言えるでしょう。

私たちロータリークラブの理念は「奉仕の理想」です。社会に役立つことを考え、地域や世界のために行動することを大切にしています。この精神は、スカウト活動の考え方ととてもよく似ています。スカウトは「日々の善行」を心がけていますが、これはロータリーが目指す奉仕の心と同じです。お互いに世代は違いますが、共通の価値を持って活動している仲間であると私は思います。今日お渡しする心ばかりの寄付は、私たちロータリークラブが、皆さまの活動を理解し、共感していることによるものです。子どもたちが未来に向かって健やかに育ち、夢を持ち、やがて社会で活躍することを信じて、その力になりたいという気持ちが込められています。未来を担う若者を支えることは、地域にとっても大きな財産となるのです。

会員の皆さまにもお願いです。これからも青少年の活動を応援していくことを念頭に置き、上田ロータリークラブも微力ながらご支援申し上げて行けたら幸いです。

最後に、ボーイスカウト、ガールスカウト様の益々のご活躍により子供達の夢や希望に繋がることを心よりお祈り申し上げます。本日はお越しいただきましてありがとうございました。

#### [ボーイスカウト・ガールスカウト 各団長挨拶]

##### ◆ガールスカウト長野県第5団 リーダー 吉村 亜希子様

ガールスカウト長野県第5団のリーダーをしております、吉村です。本日はお招きにあずかり、また貴重な助成金をちょうだいし大変ありがとうございます。



私たち5団は昨年度、発団50周年をむかえることができました。

今年度は小学1～3年生4名、4～6年生が7名、高校生が2名と時代の変化とともに50年間で6～7割減となるくらい本当にスカウト数が少なくなりました。少子化はもちろんですが、子どもにかかわるさまざまな活動が多様化するなかで、ガールスカウトが選ばれなくなっている事実もこれまた現実ではあります。

また関わる親子さんもみなさん忙しい。そのため支える大人は変わらずにただ年齢を重ねており、ガールスカウト本来の活動ができない状況にもあります。

私は小学生の時に入団したものの、中学生にはいったん離れてUターンで地元就職と同じタイミングで昔のリーダーに会い、そこからガールスカウトの本当の魅力に引き込まれて、30年近くになります。

ヤングリーダーから現役子育て中のリーダーとして活動しておりますが、岩岡団委員長、原田リーダーと相変わらずのメンバーしか残っておりません。

ただ私が感じているのは、スカウト活動そのものだけでなく、年代関係なく、ともに集い、共通の目標に向かい、いろいろな経験をさせてもらいながら、私たち大人も成長できる場でもあるとおもっています。

ガールスカウトの活動は細く長く続けることに意味があると言われますので、これからも子どもたちが自信をもって将来にむかえるよう、支援ができればとおもっています。

今日は映像をもってまいりました。昨年度は長野県連盟も結成60周年をむかえ、いつものガールスカウトの戸隠キャンプ場ではなく、海がない長野県を飛び出して福井の若狭湾へいきました。海の活動はまたスカウトたちにとっても新鮮だったと思います。5団の記念旅行は子どもたちのリクエストで東京にいきました。さまざまな活動にご支援いただき、子どもたちの活動ができております。どうぞご覧ください。本日はありがとうございました。

##### ◆ガールスカウト長野県第25団 団長 村瀬 知穂様

本年度も上田ロータリーロータリークラブ例会にご招待いただきありがとうございます。また毎年、手厚いご支援をいただき、誠にありがとうございます。ガールスカウト長野県25団の団委員長の村瀬知穂です。



さて、この一年の25団での活動内容の報告をさせていただきます。昨年度まで長年にわたり、スカウト指導をしていただいていたリーダー2名が勇退され、今年度よりリーダーが新体制となり私を含め4名体制で、日々、試行錯誤しながらスカウトのためになればと思い支援しています。またスカウト数は昨年度とかわりなく、新規入団者がいない状況ではあります。スカウト数は小学2年生～高校3年生まで13名です。登録数としては保護者とスカウト達の活動を応援して下さる高校卒業した方での成人会員が18名になり、合計35名となります。5月には例年参加している、こどもまつりへ参加しトレットペーパーの芯と細竹を使用した、鯉のぼり作りを行い、鱗を自分の好きな色を塗り、世界に1つだけの鯉のぼりを作り、毎年好評で準備した150個は終了30分前には全部なくなるほどでした。

また8月8日～11日で今年度はコロナ前と同様のスタイルで長野県連盟キャンプが戸隠で行われました。県内よりスカウトから成人までの参加者は140名近くになりました。小学4年生以上の参加で25団からも小学4年生：1名、中学1年生：1名、中学3年生：2名、成人：1名の5名で3泊4日で参加しました。初日の開会式までは晴れていましたが、テント設営前に通り雨、その後は終了の4日目まで毎日雨の中のキャンプとなりました。私も数回、戸隠キャンプに参加していますが、全日程で雨に当たることはなかったです。毎日、カップと長靴で過ごすのも珍しいキャンプとなりました。今回はキャンプでの基本の一つひとつ大切にしたい企画がなされており、全日程も時間に余裕のある行程であり、また3日目にはオープンパーティーが実施され、今回参加できなかったスカウトやガールスカウト活動に興味のある一般の子どもと家族が参加できるようになっており、ロープワークやテントをたてる際のペグ打ち体験やクラフトなど、色々と工夫がされていました。今回参加したスカウトたちは、昨年度の連盟での60周年事業にも参加しており、普段会えない県内のスカウトに会えるのも楽しみにしたり、自分たちで連絡を取り合い、一緒に参加しようと思ったなど聞かれ、連盟事業に参加する意味がここにあるのではないかと思います。これからは長野県連盟だけではなく、

日本連盟事業にも参加し、全国に友達をつくれるのもガールスカウトの良いところではないかと思えます。小学生でも1台のスマホを持っている時代です。SNSでつながり、情報が素早く収集できる時代ではありますが、やはり対面での関わりは必要と思う中、スマホのいい部分を活用し、今回も自分たちで連絡を取り合い一緒に参加をしようと思えるようになったことには成長を感じました。

また団では今年度、年間通して防災のことについても学んでいます。小学生部門では、防災ポーチをフェルト地で作り、中にはケガをした際に手当ができるもの、カイロや必要なものをいれました。昨日の集会で防災リュックについても、自分たちで必要なものなどを考え、準備していきます。中学生高校生部門は7月に東京の「そなエリア東京」へ行き、防災について学んで来ました。こちらで体験したことを、小学生部門のスカウトたちに分かりやすく経験できる集会を11月に計画しています。そのために、8月からの集会では自分たちでプログラムを企画し、準備を進めています。部門ごとの活動が多いですが、このようにスカウト全体で活動できることが、小学生のスカウトからは、中高生のスカウトはお姉さんの存在であり、憧れやロールモデルとしても大切な存在と考えています。各部門で活動内容を共有できることで、長くスカウト活動を続ける良さを知ってもらえればと思っています。

ここ数年、年長部門での企画があまりできていなかったこともあり、昨年度よりクリスマス会の企画を年長部門にも一緒に参加してもらい、また当日の運営も一部分を担ってもらっています。リーダーたちには思いつかないアイデアなど、こちららも勉強になることも多いです。PDCAサークルが回せることが社会に出て役立つ一つだと考えています。

ガールスカウトは少女たちが学校以外の場所で活躍できる場として、今後も活動していきたいと思っておりますので、ロータリークラブの皆様には引き続きお力添えをいただきながら、日本の将来を担う子供たちにとって、また、地域にとって意義ある活動を継続していきたいと思っております。

今後とも、よろしく願います。

#### ◆ボーイスカウト上田第13団 団長 小川 實様

本年も我々ボーイスカウト、ガールスカウトの活動支援金を賜りありがとうございます、青少年育成の為に大切にに使わせていただきます。私たち上田第13団は現在スカウト9名、隊指導者13名、団委員5名の合計27名で活動しています。コロナ



の蔓延も収まり野外での活動も楽しく出来るようになりました。野外活動一番の楽しみはテントを張ってのキャンプ、野外での炊飯、キャンプファイヤー(営火)などです。そのプログラムを行うに当りキャンプ場、スカウトハウス内資材庫の整理をする必要になっておりました。コロナの時期にプログラムが組めなかったせいで乱雑になっていたのが原因です。しかし令和6年に全国のボーイスカウト連盟で災害対応タスクチームの立ち上げ、令和7年活動計画の作成と県連総会をもって活動開始となりました。長野県連盟では事務局を連盟内に置き長野県を5地区に分け近年頻発する大規模災害へ備えた組織作りがまとまりました。社会全体が大規模災害で緊急の対応が必要とされていますが、スカウト活動に於いても災害発生時の地域貢献が期待されており平時からの準備が不可欠です。平時に於ける検討事項は

(1)訓練 (2)資材機材の準備 (3)連絡網の整備 (4)地域連携と課題がとり挙げられました。13団としては今まで見過ごされてきた(2)資材機材の準備としてスカウト備品やスカウトハウス内の整理を行い災害対応に必要な資機材の確認の為、資機材を一時搬出そして点検(不用品、廃棄物の選別)を行い再度の格納と、資材の整備を行い、有事の災害にも最小限ですが対応できるようにしました。その結果楽しいスカウト活動ができるようになりました。限りある資源や資材を大切に使用し活動していきたいと思っております、今後ともご支援よろしく願います。

本日はありがとうございました

#### ◆ボーイスカウト上田第5団 団員 中塚 亮平様

本日、上田第5団の挨拶を、上田ロータリークラブ会員の出田団員に代わり、代理で務めさせていただきます。



上田第5団も、少子化や子どもの多様な選択肢が増えたことなどにより、スカウト数の伸び悩みに直面し、厳しい状況が続いております。

しかし、ボーイスカウトは現在、女性も含めて募集しており、女の子でも入団できる状況です。お子様やお孫さんがいらっしゃる会員の皆様には、ぜひ体験入隊へお誘いいただければ幸いです。また、皆様の中にも指導者としてご参加いただく道がございますので、ぜひご検討ください。

#### スカウト活動の意義

ボーイスカウトの初代総長である後藤新平は、「人の世話にならぬよう、人の世話をするように」という言葉を残しました。これは、ロータリークラブの精神にも通じる

ものがあると考えております。現代では、能力の高い人が低い人を助けるという、いわば「文化」を教える機会が学校でも減少していると感じています。ボーイスカウトは、このような文化を継承し、子どもたちの間で助け合う精神を育むためにも、残していかなければならない活動だと強く感じております。

最後になりますが、今回も賛助金をいただき、大変感謝申し上げます。来年以降も変わらぬご支援、ご検討を賜りますようお願い申し上げます、お礼の言葉とさせていただきます。

**[幹事報告]**

湯田 勝己 幹事

**1. 地区事務所**

地区大会及び米山学友会懇親会についてご案内

**2. 例会変更**

上田西RC 10/9(木)・16(木)・30(木)  
11/13(木)・20(木)・27(木) 定受なし

**[ロータリーの友]**

保科茂久 雑誌委員会委員長

ロータリーの友 9月号紹介

**[ニコニコBOX]**

小山 宏幸 委員長

飯島幸宏さん 石井懋人さん 伊藤典夫さん 小幡晃大さん 大日方新治さん 金子良夫さん 窪田秀徳さん 桑澤俊恵さん 桑原茂実さん 小林秀茂さん 小山宏幸さん 佐藤倫さん 齊藤達也さん 酒井喜雄さん 酒巻弘さん 滋野眞さん 鈴木芳朋さん 関啓治さん 滝沢秀一さん 竹田和徳さん 田邊利江子さん 土屋勝浩さん 土屋陽一さん 成澤厚さん 比田井美恵さん 布施修一郎さん 保科茂久さん 三井英和さん 柳澤日出男さん 柳澤雄次郎さん

本日喜投額 30名 ￥31,000

累計 ￥491,000

**[例会の記録]**

司会：酒巻 弘 会場・出席委員長

斉唱：ロータリーソング

●セレモニー

ボーイスカウト・ガールスカウト賛助金 贈呈

●会長挨拶 ●幹事報告

●ボーイスカウト・ガールスカウト 各団長挨拶

◆ガールスカウト長野県第5団 リーダー 吉村亜希子 様

◆ガールスカウト長野県第25団 団長 村瀬 知穂 様

◆ボーイスカウト上田第13団 団長 小川 實 様

◆ボーイスカウト上田第5団 団員 中塚 亮平 様

●『ロータリーの友』紹介 保科 茂久 雑誌委員会委員長

**[ラッキー賞]**

柳澤雄次郎さん(保科 茂久さんより 新潟のビール)

田邊利江子さん(柳澤雄次郎さんより とらやの羊羹)

小林 秀茂さん(柳澤雄次郎さんより とらやの羊羹)

柳澤日出男さん(滋野 眞さんより 雪中梅)



**[出席報告]**

酒巻 弘 会場・出席委員長

	会員数	出席ベース	出席者数	出席免除(b) ( )内は出席者数	出席免除(a)	メイクアップ ( )内はMake up後	出席率
本日(9/29)	53	53	41 コロナ欠席0	4(4)			77.39
前々回(9/8)	53	52	42	4(3)		2(44) コロナ欠席0	84.62

**[次回例会予定]**

10月20日(月) 臨時総会

ゲストスピーチ 米山奨学生 金セハさん

(10月6日発行)

【会報担当】 藤森 幸路 会報委員長



国際ロータリー第2600地区

**第36回 RYLA 参加**

テーマ

**「未来のリーダーを育む一日」**

～デジタル時代のコミュニケーション力～

- 期日：2025年9月27日(土)
- 場所：上田東急REIホテル 青少年奉仕委員長 田邊利江子